

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません

令和6年度佐賀県クリーニング師試験問題

3 洗たく物の処理に関する知識

【注 意 事 項】

- 1 解答用紙に、「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。
- 2 机の上には受験票と筆記用具のみを置いてください。
- 3 携帯電話は、必ず電源を切るかマナーモードにし、机の上には置かないでください。
- 4 解答は、答案用紙にHB又はBの鉛筆（シャープペンシル）で記入してください。
- 5 1つの問題には、複数の選択肢があります。1つを選び解答してください。
- 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 7 試験中にトイレ、体の不調、筆記用具の落下など試験担当者に用事がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 8 試験問題については、各自持ち帰ってください。

試験問題

【洗濯物の処理に関する知識】

問1 次の文章について、正しいものを（ ）の①～③から選び、解答欄に記入しなさい。

- (1) シミの見分け方について、一般に生地が透けて見え、手ざわりが柔らかく、シミ周囲の輪郭がはっきりしていないものは(①水溶性 ②油性 ③不溶性)のシミである。
- (2) ドライクリーニング機のコールドタイプは(①石油系溶剤 ②テトラクロロエチレン ③フッ素系溶剤)でのみ使用されている。
- (3) 毛皮の保管温度は(①45～50 ②20～25 ③10～15)℃が適している。
- (4) 和服のクリーニング方法のうち、クリーニング業法第2条によりクリーニング業の許可が必要ないのは(①生洗い ②丸洗い ③洗い張り)である。
- (5) アクリルは、アクリルニトリルを重量比で85%以上含む合成繊維で、最も(①綿 ②絹 ③羊毛)に似た性質を持っている。

問2 次のランドリーに関する説明で、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) ランドリーとは、水に対する耐久性のある衣料品を、石けん、洗剤等を用いてドラム式洗濯機で温水洗いする洗濯方法をいう。
- (2) ランドリーの洗濯処理の本洗いでは、水量を予洗より多めにし、温度は40℃以下にする。
- (3) 水深を測る際、洗濯ドラムを数回転させて洗濯物が水を含んで停止した状態で測る。
- (4) 染色物の洗濯では水量を多くし、洗濯時間やすすぎ時間を長くとするようにする。
- (5) リネンサプライのうち病院寝具と浴衣のみ、個別に厚生労働省から「衛生基準」又は「指導基準」により消毒や洗濯の方法などが示されている。

問3 ドライクリーニングに関する次の問いに答えなさい。

- (1) ドライクリーニングの原理と歴史に関する記述のうち、誤っているものはどれか。次の中から1つ選び、解答欄に記入しなさい。
- A. ドライクリーニングとは、水洗いに適さない洗濯物に対して、水の代わりに有機溶剤を用いて洗濯物への影響を抑えた洗浄方法である。
 - B. 日本では現在、主に石油系溶剤とテトラクロロエチレンがドライ溶剤として使用されている。
 - C. ドライクリーニングする洗濯物の多くは「內衣」である。
- (2) チャージシステムに関する記述のうち、誤っているものはどれか。次の中から1つ選び、解答欄に記入しなさい。
- A. あらかじめドライ溶剤にドライソープを添加しておいて洗う方法である。
 - B. ソープ濃度は0.05%～0.1%を用いるのが普通である。
 - C. ソープには静電気の発生を抑制する作用がある。
- (3) ドライ溶剤の管理に関する記述のうち、誤っているものはどれか。次の中から1つ選び、解答欄に記入しなさい。
- A. ワッシャー中の汚れた溶剤は、ポンプでフィルターへ送られ繰り返し循環され、主に水溶性の汚れが除去される。
 - B. フィルター内に活性炭や脱酸剤が入っている場合は色素や脂肪酸なども吸着除去できる。
 - C. ドライ溶剤中に溶け込んだ油性汚れの多くはフィルターのみで除去することができないため、蒸留が必要となる。
- (4) ドライクリーニング処理に関する記述のうち、誤っているものはどれか。次の中から1つ選び、解答欄に記入しなさい。
- A. J I S L 0 0 0 1 による各ドライクリーニング処理記号には、試験条件が定められており、この試験条件以上で洗浄すれば回復不可能な損傷が生じることはないはずである。
 - B. ドライクリーニングの処理で洗濯物に事故が発生した場合、クリーニング業者が、自身が行ったクリーニング処理に問題がないことを主張するためには、洗浄条件を記録・保管しておくことが望ましい。
 - C. 洗浄後、洗濯物からドライ溶剤を取り除く脱液と乾燥の工程において、脱液が強ければ、乾燥効率がよくなる。
- (5) ドライ仕上げに関する記述のうち、正しいものはどれか。次の中から1つ選び、解答欄に記入しなさい。

- A. 「仕上げの3条件」は湿気・熱・圧力である。
- B. ドライ仕上げの最適な蒸気圧は0.35Mpaである。
- C. 下ごて蒸気は生地の変形を保ち、形を決める仕上げに適する。

問4 ウエットクリーニングに関する以下の記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) ウエットクリーニングは、機械力を抑える必要がない製品を対象とした洗浄方法である。
- (2) ポリ塩化ビニル製品はウエットクリーニングの対象品である。
- (3) ウエットクリーニングは一般に洗浄性が低い。
- (4) 過去にテトラクロロエチレンでドライクリーニングしたことが明らかである洗濯物に対しては、排水中の環境汚染に考慮しウエットクリーニングを実施しない。
- (5) JISL0001のウエットクリーニング記号の規定された試験条件を守れば素材別に注意することはない。

問5 シミ抜きに関する以下の記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) シミ抜き剤の作用は溶解作用、潤滑作用、化学作用、酵素作用の4つに分類される。
- (2) シミ抜き剤は、強い薬剤から弱い薬剤、濃度の濃いものから薄いものの順番で使用する。
- (3) 水溶性のシミはたんぱく系とタンニン系の2つに分類され、血液や玉子はたんぱく系の汚れに分類される。
- (4) アルカリ性のシミ抜き剤を使用した場合は濃度の薄いアンモニア水で中和してから水ですすぐ。
- (5) 不溶性のシミは水にも溶剤にも溶けずに衣類の細かい織目などに入り込んでいるため除去しにくく、ご飯粒をノリ状にして塗り込んで揉み出し除去することがある。

解 答 用 紙

【洗濯物の処理に関する知識】

受験番号	氏 名

問1 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
②	①	③	③	③

問2 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	×	○	×	×

問3 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
C	B	A	A	A

問4 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	○	○	○	×

問5 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	×	○	×	○